

成長ホルモン治療を続ける患者さんご家族のための情報誌

# growing

グローイング  
第4号

SPECIAL EDITION  
特集 思春期の成長ホルモン療法②

にしせいちよう

## 自然に二次性徴が 来ない場合



1999  
冬

3 たのA  
2 ことの&  
1 かQ

# なんでも相談室



## PART 1 子ども編

回答者

日本医科大学附属病院小児科助教授

大木 由加志 先生

GROWING 11

**Q.1** 小学校3年生の一人息子は、成長ホルモン治療を開始して一年になります。からだからだが小さいせいせいか、同学年の友達に比べると子どもっぽく、精神的にも幼いのが気になります。しつけしつけの面で、親はどんなことを心がけたらよいでしょうか？

**A** 成長ホルモン分泌不全の有無にかかわらず、身長を伸ばす原則は、食事・運動・睡眠の充実です。私たちは、分泌不全のお子さんがどれくらいどれくらいの食事量を摂っているか調査しました。その結果、体格（身長、体重、体表面積）に見合った量を、きちんと摂っていることが分かりました。したがって、治療で大きくなれば、心配しなくても食事量は増えます。ただし、運動をしないと肥満になってしまいますので、学校の体育だけでなく、2日に1回くらいは30分ほど散歩するのみで十分です。

また、夜間には十分な睡眠をとり、規則正しい生活を送ることも大切です。授業中のいねむりは効果ありません。少子化が進んでいます。したがって一人の子のお子さんも増えています。独断を承知で申しますと、お子さんが一人の場合、この両親の愛情が集中的に注がれる結果、すばらしい才能が開花する場合と、過保護がゆえにワガママまたは軟弱な性格になる場合とがあるような気がします。特に体格が小さい場合、甘やかしすぎになることが危惧されます。



感情的でなく、この両親の立場をなるべく客観的なものとし、きびしく接することが大切だと思います。対外的にも家に閉じこもらず、いろいろな人と交流させてください。ネガティブではなくポジティブに良い面・得意な分野を伸ばしてください。

# な・ん・で・も・相談室 PART1・子ども編



## Q.2

息子は3歳6カ月で「成長ホルモン分泌不全性低身長症」と診断されました。注射は大の苦手なので、小学校に入ってから治療を始めたいと思います。それまで待つていては遅すぎますか？

### A

成長ホルモン分泌不全性低身長症のお子さんの身長の特徴は、下の図の赤線で示したように、年間の成長率（＝成長の速度）が年々落ちてくることです。したがって、小学校に入ってからでも遅すぎることはありませんが、治療開始ができればおくれるほど、身長の回復に時間がかかります。

図の青線は、3歳6カ月で治療を開始したお子さんの例を示したものです。

成長ホルモンの薬に対する感受性の関係で、少し違いはあるでしょうが、6歳のスタートの時点で8〜10cmくらいの差がついてしまうのがわかりになると思います。

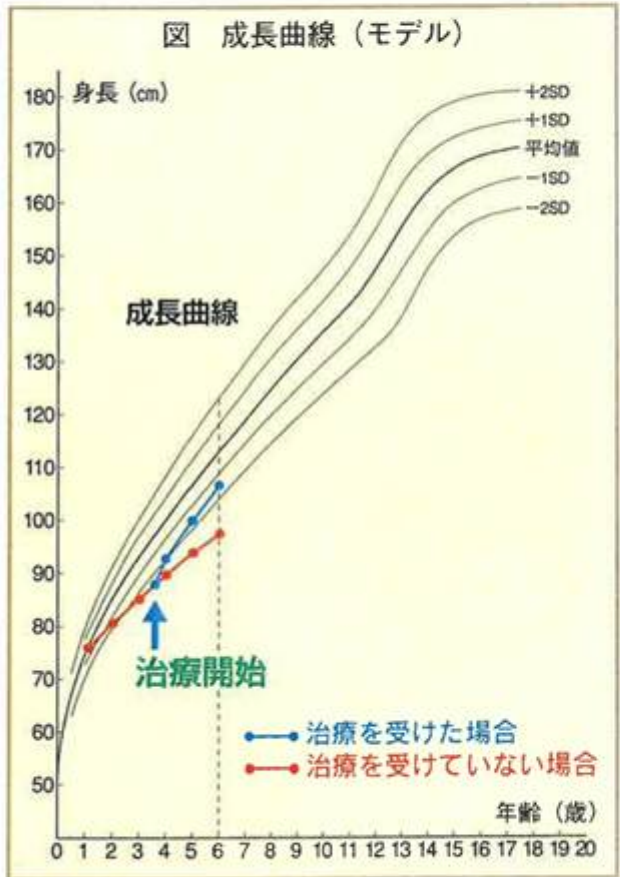
男の子は普通12歳ごろから「性ホルモン」の分泌が増え、二次性徴が認められるようになり、思春期を迎えます。男の子では、はじめに精巣（睪丸）が大きくなり始め、ついで陰毛（性毛）が生えてきます。また、この時期には「身長のスパート」が見られ、成長ホルモン治療との相乗効果で、背もグン

と高くなります。

この思春期が来る前に、どれだけ治療で身長を伸ばしておくかが、最終身長に大きく影響します。

さいわいにも、小さい年齢で診断がついたのですから、できるだけ早く治療を始められた方が良いでしょう。

どんなお子さんでも（もちろんおとなも）みんな、注射は苦手です。しかし、病気によっては、たとえば1型糖尿病のお子さんは、1日2〜4回のインスリン注射と、2〜4回の血糖値測定を毎日くり返し、がんばっています。なぜ成長ホルモン注射を幼い頃から行なう必要があったかは、いずれお子さんが大きくなってから理解されることと思います。



注：思春期の成長ホルモン療法については、グロウイング。毎特集を  
ご参照ください（編集室）

《先生の似顔絵》



画・大山郁代さん



大木 由加志 先生

